

# 地域社会と生活者としての外国人

## 外国人支援を本気モードに～コミュニティ通訳のプロ化を目指して～

地域社会でともに生活する外国人が増加するなか、“世界から集まった人々が活躍できる環境づくり”が、今後一層重要になるとともに、その担い手の育成がますます求められています。これまで有償ボランティアが主流を占めていた「コミュニティ通訳」でくられる司法・医療通訳は、そろそろ現場で限度を超える不具合が生じてきています。裁判所で目に余る通訳ミスは後を絶ちません。日弁連は国に対して司法通訳認証制度確立を求めています。一方、厚生労働省は昨年度末他の2病院と合わせて、地方独立行政法人「りんくう総合医療センター」を外国人患者受け入れ医療機関として正式に認証しました。大きな前進です。日進月歩ならぬ、秒進分歩で進化するIT社会、押し寄せる経済のグローバル化のただ中に置かれる地球市民。どこに居住空間を定めようとも、生命を衛(守)る医療と人権を擁護する司法の両分野において、とりわけ「言葉の壁」に苦しむ外国人を支援していかなければなりません。彼らに寄り添って癒そうとする気持ちは実ははねかえって、支援するわたしたち自身の癒しになります。他者を深く思うやさしさは、自分自身を癒してくれるのです。

そこで、今回の国際交流人材養成講座では、こうしたコミュニティ通訳のプロ化を目指して先鞭をつけようとされている司法・医療通訳の現場の事例を紹介し、自分の可能性を追求する機会を提供するとともに、ボランティアからプロへ一歩踏み出すきっかけをつかんでいただく講座を開催します。

様々な角度から多文化共生について学ぶ機会として、また、今後の活動につなげるための知識の習得機会として、みなさまの参加をお待ちしております。

(本講座コーディネーター：林田雅至 [大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授「コミュニティ部門」所属、多言語コミュニケーション・デザイナー])

## 講座日程 / 全5回

■開催時間 / 19:00～20:30

■開催場所 / 大阪国際交流センター 会議室

2014年

第1回

1月10日(金)

「多文化共生」って何だろう？～多文化共生と地域の未来～

特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪 代表理事 田村 太郎

第2回

1月16日(木)

大阪大学附属病院「国際医療センター」など医療通訳の取り組み・展望

「りんくう総合医療センター」健康管理センター長、  
大阪大学附属病院「国際医療センター」副センター長 南谷 かおり(医師)

第3回

1月23日(木)

スポーツ国際大会で活躍する日本人医療従事者の多言語化・多文化化の現状

大阪大学大学院 医学系研究科 健康スポーツ科学(スポーツ医学)教授、  
大阪大学附属病院「国際医療センター」副センター長 中田 研(医師)

第4回

1月30日(木)

司法・医療通訳現場と今後の展望

プロ国際会議通訳者 金 静 愛

第5回

2月6日(木)

司法通訳人養成と大学の役割

金城学院大学教授(法言語学) 水野 真木子

